

南アメリカ・オセアニア 州

名前

- 問1 オーストラリアの鉄鉱石採掘などで広く採用されている、地下に潜らずに地表から直接地面を大規模に削り取って掘り下げていく採掘方法を何というか、名称を答えなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 促成栽培 2. 棚田 3. 坑内掘り 4. 露天掘り
-
- 問2 南アメリカのアンデス山脈において、標高3000mを超える高地で行われている主な土地利用の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天然ゴムの採取と、焼畑によるトウモロコシ栽培 2. リャマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培 3. 稲作と、輸出用としての茶の栽培 4. サトウキビの大規模な栽培と、牛の放牧
-
- 問3 農業統計において、農林水産業に従事する人の割合が約1.5%と非常に低いのにに対し、従事者1人あたりの農地面積が160ヘクタールを超えて突出して広い数値を示す国があります。このような、広大な国土を背景に少ない労働力で大規模な生産を行う農業のあり方を何と呼びますか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 粗放的農業 2. 施設園芸農業 3. 集約的農業 4. 自給的農業
-
- 問4 オーストラリアの農用地面積は約371万平方キロメートルであり、そのうちの約325万平方キロメートルが牧場・牧草地として利用されています。このように、農用地のほとんどが放牧のための土地として活用されている地理的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 乾燥した広大な内陸部において、農作物の栽培よりも、家畜を広範囲に放す大規模な放牧が適しているため 2. 年間を通じて降水量が極めて多く、土地が湿潤すぎて穀物などの耕作が物理的に不可能であるため 3. 伝統的に焼畑農業が主流であり、森林を焼き払った後の土地をすべて牧草地として再利用する制度があるため 4. 人口密度が非常に高いため、狭い土地で効率よく食料を生産できる集約的な畜産業を重視しているため
-
- 問5 ある都市の気候データを分析したところ、「7月の気温が約10度で最も低く、1月の気温が約20度弱で最も高い。また、各月の降水量は100mm前後で安定している」という特徴が確認されました。この都市の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 南半球に位置する、西岸海洋性気候の都市である 2. 北半球に位置する、西岸海洋性気候の都市である 3. 南半球に位置する、乾燥帯のステップ気候の都市である 4. 北半球に位置する、地中海性気候の都市である
-
- 問6 オーストラリア大陸の気候帯の面積割合について説明した資料によると、乾燥帯が全体の57.2パーセントと過半数を占めています。この大陸の気候の特徴として最も適切なものを次から選びなさい。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. 低緯度から高緯度まで及ぶため、熱帯から寒帯まで全ての気候帯が均等に分布している。 2. 大陸の半分以上が乾燥帯であり、熱帯や温帯も分布するが、亜寒帯や寒帯は存在しない。 3. 温帯が最も広い面積を占めており、次いで亜寒帯が広く、熱帯は全く存在しない。 4. ほぼ全域が熱帯に属しており、一年を通して高温多湿な気候が続くが、乾燥帯は存在しない。
-
- 問7 ブラジルの産業や社会の状況について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. アジアの文化的な影響を強く受けており、国民の約8割がヒンドウ教を信仰しているため、牛肉の輸出は行われていない。 2. 広大な土地を利用した大規模な農業・牧畜が行われており、とうもろこしや肉類が日本への主要な輸出品となっている。 3. 西アジア諸国と同様に世界有数の産油国として知られ、日本への輸出品の大半を原油が占めている。 4. 南アフリカ共和国と同様に希少金属である白金の産出が盛んであり、日本への輸出において最も高い割合を占める。
-
- 問8 森林の中で多様な樹木や農作物を組み合わせで栽培する農法が、単一の作物を栽培する方法に比べて優れている理由として、最も適切な記述はどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 土地を定期的に焼き払って灰を肥料にすることで、作物の成長スピードを早めることができるため。 2. 一種類の作物に絞って栽培することで、肥料や農業にかかる費用を大幅に削減できるため。 3. 複数の作物を栽培することで病害虫の蔓延や土壌の流失を防ぎ、安定した収穫や費用の削減が可能となるため。 4. 大型の農業機械を一斉に投入することが可能になり、作業効率を極限まで高められるため。
-
- 問9 オーストラリアの都市シドニーの気候について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 年間を通して気温の変化がほとんどなく、1月と7月の気温差がほぼ見られない赤道直下の特徴を持っている。 2. 1月の平均気温が約20度と高く、7月の平均気温が約10度と低くなっており、日本などの北半球の国々とは季節が逆になる。 3. 1月の気温は高いが降水量が極端に少なく、7月の気温は低いが降水量が非常に多いという、乾季と雨季が極端に分かれた特徴を持っている。 4. 7月の平均気温が約20度と高く、1月の平均気温が約10度と低くなっており、日本と同じ季節の移り変わりが見られる。
-
- 問10 オーストラリア大陸において、年間降水量が500mmから1000mm程度の中程度の地域である南東部や南西部の土地利用として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 気候条件に関わらず、大陸全域で一律に大規模な小麦の単作が行われている 2. 年間降水量が極めて少ないため、この地域のほとんどは農業ができず砂漠や荒地地となっている 3. 小麦の栽培と羊の飼育を組み合わせた農業が行われている 4. 大鑽井（グレートアーテジアン）盆地の豊富な地下水を利用した大規模な稲作が行われている
-
- 問11 アンデス山脈の高地で見られる、地形や気候の特色を生かした人々の暮らしや産業に関する説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 乾燥した砂漠地帯が広がるため、地下水路を利用したオアシス農業によってナツメヤシが生産されている。 2. 年間を通じて温暖で降水量が多く、斜面を利用した大規模な水田稲作が主要な産業となっている。 3. 広大な平坦地を利用して、大型機械を用いた大規模な小麦の企業的穀物農業が盛んに行われている。 4. 標高による気温の変化を利用し、高地ではジャガイモの栽培、家畜としてリャマやアルパカの飼育が行われている。
-
- 問12 南アメリカ州の主要都市であるブラジルのサンパウロとペルーのリマについて、それぞれの降水パターンの違いを説明したものとして正しいものはどれか。なお、サンパウロの年降水量は約1618mm、リマは約2mmである。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. サンパウロは6～8月の夏季に降水量が最も多くなるが、リマは海岸部に位置するため年間を通じて霧による降水が1500mmを超える。 2. サンパウロは赤道直下に位置するため年間を通じて様に雨が降り、リマは高山地帯にあるため冬にのみ雪が降る。 3. サンパウロは年間の降水量がほぼゼロに近い乾燥した気候だが、リマはアマゾン川の湿った空気の影響で夏季に降水量が増加する。 4. サンパウロは南半球の冬季にあたる6～8月に降水量が減少するが、リマは季節に関わらず年間を通じて降水量が極めて少ない。